



## 投与開始基準

大腸FOLFIRI(イリノテカンと5FU)

投与可能条件	好中球1500/mm <sup>3</sup> 以上、血小板100000/mm <sup>3</sup> 以上
--------	---

## 減量・中止基準

大腸FOLFIRI(イリノテカンと5FU)

副作用	程度	処置
白血球減少	3000/mm <sup>3</sup> 未満または急激な減少傾向があるなど骨髄抑制が疑われるとき	イリノテカン投与を中止または延期
好中球減少	G3以上	休薬、次回20%～25%減量を検討
血小板減少	G3以上	休薬、次回20%～25%減量を検討
血小板減少	100000/mm <sup>3</sup> 未満または急激な減少傾向があるなど骨髄抑制が疑われるとき	イリノテカン投与を中止または延期
消化器系の副作用	予防的治療の施行にもかかわらずG3以上発現した場合	休薬、次回20%減量を検討
肝機能障害	T-Bilが <sup>a</sup> 5mg/dL以上	5FUの投与中止
	T-Bilが <sup>b</sup> 1.5～3×ULN	イリノテカン休薬、次回20%～25%減量を検討

アフリベルセプト

副作用	程度	処置
Infusion reaction	軽度～中等度	ただちに投与を中断し、回復した場合再開する。
	重度	ただちに投与を中止する。
好中球減少	1500/mm <sup>3</sup> 未満	1500/mm <sup>3</sup> 以上に回復するまで休薬
血小板減少	75000/mm <sup>3</sup> 未満	75000/mm <sup>3</sup> 以上に回復するまで休薬
高血圧	G2	投与を継続し、降圧薬による治療を行う
	G3	150/100mmHg(高血圧を合併する場合は収縮期血圧180mmHg)以下に回復するまで休薬し、降圧薬による治療を行う。その後、 ①2週間以内に回復した場合、1回目では減量せずに投与する。2回目では2mg/kgに減量する。 ②2週間を超え4週間以内に回復した場合、2mg/kgに減量する。 ③4週間以内に回復しない場合、及び2mg/kgに減量しても再発した場合、投与を中止する。
	G4または高血圧に伴う臓器障害が認められた場合	投与を中止する。

尿蛋白の程度	処置				
	今回の投与	今回の投与後の尿蛋白量	次回の投与	次々回の投与	
蛋白尿	UPCRが1～2以下かつ血尿無し	3.5g/日未満	2g/日以下で投与を継続する		
			2g/日超で休薬	2g/日以下で2mg/kgで減量投与 2g/日超で投与中止	
		3.5g/日以上	2g/日以下で2mg/kgで減量投与		
			2g/日超～3.5g/日以下で休薬	2g/日以下で2mg/kgで減量投与 2g/日超で投与中止	
	UPCRが1～2以下かつ血尿が認められる場合、またはUPCRが2超の場合	休薬	-	3.5g/日超で投与中止	
				2g/日以下で投与継続	
2g/日超～3.5g/日以下で休薬				2g/日以下で2mg/kgで減量投与 2g/日超で投与中止	
2mg/kgに減量しても再発した場合、またはネフローゼ症候群や血栓性微小血管症を発症した場合	投与中止				